

掲載内容概要——平成二十四年新年号(660)～十二月号(671)

名刀鑑賞

刀 銘	備前国住長船清光作之・天文二十三年八月日	(新年号)	660	
太刀 銘	是友(古青江)	(二月号)	661	
刀 無銘	伝粟田口国吉	(三月号)	662	
刀 銘	慶長八年八月日 国広・林傳右衛門尉時行所持之	(重美)	663	
脇指 銘	宇都宮大明神 相模国住人広光	(四月号)	664	
太刀 銘	八幡大菩薩 文和五年卯月日	(重文)	665	
刀 無銘	信房作	(当協会蔵)	666	
刀 無銘	伝 正宗	(特重)	667	
薙刀直し脇指 銘	真利	(当協会蔵)	668	
太刀 銘	康暦元年八月日包吉	(重美)	669	
短刀 銘	相模守藤原政常	(当協会蔵)	670	
刀 銘	津田越前守助広・延宝七年二月日	(重文)	671	
<b>名鐔鑑賞</b>				
粟穂図鐔 銘	一斎東明(花押)	(新年号)	660	
龍の落とし子図目貫 無銘	三角	(二月号)	661	
樊噲図鐔 銘	龍雨斎大森英秀(花押)	明和庚寅六月吉日	(重刀)	662
鷲図鐔 無銘	初代甚五	(重刀)	663	
鞍馬山図縁頭 銘	白峯亭 岩本昆寛	(花押)	(重刀)	664
投桐透鐔 無銘	西垣勘四郎	(重刀)	666	
猛虎図縁頭 銘	柳川直政	(花押)	(重刀)	667
猛虎図鐔 銘	安親図 岩本昆寛	(花押)	(重刀)	668
葦に白鷺図縁頭 銘	春曙堂昆寛	(花押)	(重刀)	669
梅樹透鐔 無銘	林又七	(重刀)	(十二月号)	671
<b>平成24年新作名刀展</b>				
太刀・刀 脇指・薙刀・槍の部	日本美術刀剣保存協会会長賞	(六月号)	665	
刀 銘	日州國正作・平成二十二年春	(六月号)	666	
彫金の部	日本美術刀剣保存協会会長賞	(六月号)	667	
野晒図鐔 銘	模金家 左一光作・壬辰 春	(六月号)	670	

刀剣定例鑑賞会 出品刀・解説

刀 銘	造大慶直胤(花押)・天保六年仲春	(二月号)	661
太刀 銘	来国□(来国俊)	(二月号)	661
短刀 銘	正秀(花押)・天明八年二月日	(二月号)	661
刀 銘	和泉守藤原国貞	(二月号)	661
刀 銘	肥前国住近江大掾藤原忠広	(二月号)	661
脇指 銘	備前国住長船左京進宗光 二郎左衛門尉勝光	(二月号)	662
太刀 銘	永正五年二月吉日	(三月号)	662
太刀 銘	真則(古一文字)	(三月号)	662
脇指 銘	和泉守藤原国貞	(三月号)	662
薙刀直し脇指 銘	真利	(三月号)	662
太刀 銘	国宗(備前三郎)	(三月号)	662
刀 銘	(菊紋) 出羽守法橋源光平	(四月号)	663
刀 銘	和泉守藤原国貞	(四月号)	663
刀 銘	兼之	(四月号)	663
刀 銘	水心子正秀(花押)・文化五年八月日	(四月号)	663
短刀 銘	政清・応安元二八	(四月号)	663
太刀 銘	正恒	(五月号)	664
太刀 銘	□州長船兼光	(五月号)	664
刀 (金象嵌銘)	盛景	(五月号)	664
太刀 銘	備州長船次行	(五月号)	664
刀 銘	為村上重君石堂運寿是一精鍛造之・嘉永七年甲寅歲二月日	(五月号)	664
短刀 銘	備州長船元重・正和五年六月日	(六月号)	665
刀 銘	長曾祢興里虎徹入道	(六月号)	665
(金象嵌)	万治四年卯月十九日 山野勘十郎成久(花押)	三ツ胴截断	665
短刀 銘	備州長船兼光・延文五年三月日	(六月号)	665
刀 銘	長曾祢興正	(六月号)	665
(金象嵌)	延宝二年八月廿九日 山野勘十郎久英(花押)	貳ツ胴截断	665
刀 銘	井上真改(菊紋) 延宝八年八月日	(六月号)	665
短刀 銘	左	(七月号)	666
太刀 銘	国行(来)	(七月号)	666
太刀 銘	守家	(七月号)	666
脇指 銘	繁慶	(七月号)	666

太刀 銘 延吉……………	(七月号)	666
太刀 銘 吉房……………	(八月号)	667
脇指 銘 水心子正秀・寛政元年二月日……………	(八月号)	667
太刀 銘 大和尻懸住則長……………	(八月号)	667
短刀 銘 国光(新藤五)……………	(八月号)	667
短刀 銘 清人・万延元八月日……………	(八月号)	667
刀 銘 肥前国住人源忠吉……………	(十月号)	669
短刀 銘 兼先……………	(十月号)	669
太刀 無銘 伝則重……………	(十月号)	669
短刀 銘 来国次……………	(十月号)	669
刀 銘 藤原広美……………	(十月号)	669
刀 銘 兼芝……………	(十一月号)	670
太刀 銘 波平安次……………	(十一月号)	670
刀 銘 大和守安定……………	(十一月号)	670
刀 無銘 伝青江恒次……………	(十一月号)	670
太刀 銘 貞真(古一文字)……………	(十一月号)	670
短刀 銘 備中国住次吉作・康安二年十月日……………	(十二月号)	671
脇指 銘 東都細川主税介源正義……………	(十二月号)	671
天保八丁酉年孟春水谷景基佩刀		
(切付銘) 彫本莊龜之助源義胤		
太刀 銘 備前国長船住近景……………	(十二月号)	671
脇指 銘 越中守正俊……………	(十二月号)	671
短刀 銘 吉光……………	(十二月号)	671

**論文**

肥前刀雜記(三四) 忠吉系の乱れ刃に就いての古説を問う

「毛抜形太刀」考(野劔・衛府太刀について)	横山 学……………	(新年号)	660
肥前刀雜記(三五) 土佐守忠吉の出自	宮崎 政久……………	(二月号)	661
放射化分析を用いた日本刀鉄産地の特定	横山 学……………	(三月号)	662
津軽弘前藩郷土刀工史(上)	出島 宏……………	(三月号)	663
津軽弘前藩郷土刀工史(下)	富岡 昭……………	(四月号)	663
国内各地の砂鉄による地鉄の比較(自家製鋼を続けながら)	富岡 昭……………	(五月号)	664
	成木 一成……………	(五月号)	664

肥前刀雜記(三六) 忠国	横山 学……………	(六月号)	665
豊前小倉最後の刀工 紀政次について	竹川 均……………	(七月号)	666
仙台藩刀匠考(一九) 仙台藩お抱え刀工「萬歳国次」を探る			
東日本大震災 被災刀剣との遭遇を起として	佐藤 一典……………	(八月号)	667
肥前刀雜記(三七) 播磨守忠国	横山 学……………	(九月号)	668
初心者のための日本刀の見方(古刀編)(新刀編)			
初心者講座資料から	真砂 光治……………	(九月号)	668
金象嵌截断銘の特徴と捉へ山野家を中心として	井本 悠紀……………	(十月号)	669
『解紛記』の著者黒庵に就いて	奈良原和夫……………	(十一月号)	670
仙台藩刀匠考(二〇) 仙台刀工「淀川重利」を探る(月山重宗を加えて)	佐藤 一典……………	(十一月号)	670
下野刀工覚書(その七) 海を渡った宝刀、六十五年ぶりに故郷へ	松本 劔童……………	(十一月号)	670
鎌倉時代の焼入れについて	渡邊 繁平……………	(十二月号)	671
郷土刀工紹介			
截断銘のある角元興について	古宮 隆司・渡部 昇一……………	(二月号)	661
加州家平「刀」の銘文を読み解く(系統の流れと作域を検討する)	小浦宗五郎……………	(十二月号)	671

**誌上鑑定刀入札講評**

近江大掾忠広 短刀(十一月号出題)……………	(新年号)	660
肥前国住人忠吉(初代)刀(十二月号出題)……………	(二月号)	661
初代伊予掾宗次 刀(新年号出題)……………	(三月号)	662
長船長光 太刀(二月号出題)……………	(四月号)	663
長船基光 太刀(三月号出題)……………	(五月号)	664
長船与三左衛門尉祐定(初代・天文三年紀)刀(四月号出題)……………	(六月号)	665
近江大掾忠広 短刀(五月号出題)……………	(七月号)	666
月山近則(永正九年紀)脇指(六月号出題)……………	(八月号)	667
宇多国宗 短刀(七月号出題)……………	(九月号)	668
源清麿 脇指(八月号出題)……………	(十月号)	669
長船孫右衛門尉清光(永祿九年紀)刀(九月号出題)……………	(十一月号)	670
新藤五国光(嘉元二二年紀)短刀(十月号出題)……………	(十二月号)	671